5号認定　売上高等確認表

◎運用緩和様式を使用する理由：

（例)令和〇年〇月に〇〇町で新規店舗を開業し、事業規模が拡大しているため。

1. 主たる業種の確認

（単位：千円）

	日本標準産業分類		最近１年間の売上高等（直近ベース）	構成比	主たる業種に「〇」を記入
	細分類番号	細分類業種名			
指定業種				%	
				%	
				%	
	小　計			%	
非指定業種				%	
				%	
企業全体				100%	

※主たる業種とは、最近1年間の売上高等が最も大きい事業が属する業種をさします。
※この表の業種は「日本標準産業分類（平成25年10月改定）」に基づき細分類番号と細分類業種名を記載してください。

2. 売上高等の確認

【最近1か月（又は最近6か月間の平均）を含めた今後3か月分の売上高等及び売上高等見込み】

売上高等	令和　年　月	令和　年　月	令和　年　月	Aの期間後2か月間の見込み売上高等	今後3か月合計売上高等
指定業種（注1）	A　千円	C1（見込み）　千円	C2（見込み）　千円	C=C1+C2　千円	E=A+C　千円
企業全体	a　千円	c1（見込み）　千円	c2（見込み）　千円	c=c1+c2　千円	e=a+c　千円

※A･aにおいて「最近6か月間の平均売上高等」を使用する場合、A･aの年月を2重線で消し、「令和〇年〇月～〇月の平均」と記載してください。
この場合、下のB･bの年月も同様に記載してください。
※千円未満切捨てで記載してください。

【令和元年12月の売上高等】

売上高等	令和元年12月	令和元年12月×3
指定業種（注1）	B　千円	D＝B×3　千円
企業全体	b　千円	d＝b×3　千円

（注1）イ(11)の場合、[1. 主たる業種の確認]で確認した指定業種のうち、主たる業種の売上高等を記入してください。

3. 指定業種の売上高等の減少額

指定業種	B － A ＝	千円	指定業種	D － E ＝	千円

4. 企業全体の売上高等の減少額

企業全体	b － a ＝	千円	企業全体	d － e ＝	千円

取扱金融機関等記入欄 ※申請者以外の方が代理申請を行う場合に記入してください
上記の内容について、事実に相違ないことを確認しました。 令和　　年　　月　　日 （代理申請者） 所在地 法人名 支店名 担当者氏名

上記の内容について、事実に相違ありません。
令和　　年　　月　　日

（申請者）
事業所住所

名称

氏名
（代表者名）

5号認定　売上高等確認表

イ(8)記載例

◎運用緩和様式を使用する理由：令和2年2月に〇〇町で2店舗目を開店し、事業規模が拡大しているため。

（例)令和〇年〇月に〇〇町で新規店舗を開業し、事業規模が拡大しているため。

1. 主たる業種の確認

（単位：千円）

	日本標準産業分類 細分類番号	日本標準産業分類 細分類業種名	最近１年間の売上高等（直近ベース）	構成比	主たる業種に「〇」を記入
指定業種	5222	酒類卸売業	9,000	90%	〇
	5851	酒小売業	1,000	10%	
				%	
	小　計		10,000	100%	
非指定業種				%	
				%	
企業全体			10,000	100%	

売上高等とは、売上高又は販売数量（建設業にあっては、完成工事高又は受注残高）を指します。

※主たる業種とは、最近1年間の売上高等が最も大きい事業が属する業種をいいます。
※この表の業種は「日本

最近1か月は申請月の前月とするが、売上高等が確定していない場合は、前々月や前々々月でも可能とします。

最近1か月の売上高等での比較が適当でない特段の事情（月々の売上高等が安定していない等）がある場合、「最近6か月間の平均売上高等」でも可能とします。

2. 売上高等の確

【最近1か月（又は

売上高等	令和　5年　1月	令和　5年　2月	令和　5年　3月	Aの期間後2か月間の見込み売上高等	今後3か月合計売上高等
指定業種（注1）	A　千円	C1（見込み）　千円	C2（見込み）　千円	C=C1+C2　千円	E=A+C　千円
企業全体	a　1，000　千円	c1（見込み）　1，000　千円	c2（見込み）　1，000　千円	c=c1+c2　2，000　千円	e=a+c　3，000　千円

※A･aにおいて「最近6か月間の平均売上高等」を使用する場合、A･aの年月を2重線で消し、「令和〇年〇月～〇月の平均」と記載してください。
この場合、下のB･bの年月も同様に記載してください。
※千円未満切捨てで記載してください。

【令和元年12月の売上高等】

売上高等	令和元年12月	令和元年12月×3
指定業種（注1）	B　千円	D＝B×3　千円
企業全体	b　1，100　千円	d＝b×3　3，300　千円

（注1）イ(11)の場合、[1. 主たる業種の確認]で確認した指定業種のうち、主たる業種の売上高等を記入してください。

3. 指定業種の売上高等の減少額

指定業種	B － A ＝	千円	指定業種	D － E ＝	千円

4. 企業全体の売上高等の減少額

企業全体	b － a ＝	100　千円	企業全体	d － e ＝	300　千円

取扱金融機関等記入欄
※申請者以外の方が代理申請を行う場合に記入してください

上記の内容について、事実に相違ないことを確認しました。
令和　５　年　２　月　16　日

（代理申請者）
所在地　広島市中区大手町△△ー△
法人名　株式会社△△銀行
支店名　□□支店
担当者氏名　◇◇　◇◇

上記の内容について、事実に相違ありません。
令和　５　年　２　月　15　日

（申請者）
事業所住所　広島市中区国泰寺町〇丁目〇ー〇
名称　株式会社△△△△△△
氏名（代表者名）　代表取締役　□□　□□

認定権者記載欄		

様式第５－イ（８）（最近１か月の売上高等と令和元年１２月の売上高を比較し、その後２か月間（見込み）を含む最近３か月の売上高と令和元年１２月の売上高の３倍を比較）

（本様式は、営んでいる事業がすべて指定業種に属する場合であって、前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合に使用します。）

中小企業信用保険法第２条第５項第５号の規定による認定申請書イ（８）

令和　　年　　月　　日

広島市長　様

（申請者）事業所住所

氏　　名

私は、表に記載する業を営んでいますが、新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、売上高の減少が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第２条第５項第５号の規定に基づき認定されるようお願いします。

（表）

※営んでいる事業が属する業種を日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名で全て記載。

※当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近１年間で最も売上高が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等（認定要件：減少率≧５％）

（１）最近１か月間の売上高又は最近６か月間の平均売上高（該当する方の□に✓を入れてください）

｛（ｂ－ａ）÷ｂ｝×１００　　減少率　　％(実績)

（小数点第２位以下切捨て、第１位まで記載）

ａ：□　最近１か月間の売上高（令和　　年　　月）

□　最近６か月間の平均売上高（令和　　年　　月から令和　　年　　月）

ａ：　　千円

ｂ：令和元年１２月の売上高　　ｂ：　　千円

（２）最近３か月間の売上高の実績見込み

｛（ｂ×３）－（ａ＋ｃ）｝÷（ｂ×３）×１００　　減少率　　％(実績見込み)

（小数点第２位以下切捨て、第１位まで記載）

ｃ：ａの期間後２か月間の見込み売上高　　ｃ：　　千円

（留意事項）

①　本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

②　市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

広 産 産 第　　号

令和　　年　　月　　日

申請のとおり相違ないことを認定します。

（注）本認定書の有効期間：令和　　年　　月　　日から令和　　年　　月　　日まで

認定者名　　広島市長　　松井　一實　　印

認定権者記載欄		

様式第５－イ（８）（最近１か月の売上高等と令和元年１２月の売上高を比較し、その後２か月間（見込み）を含む最近３か月の売上高と令和元年１２月の売上高の３倍を比較）

（本様式は、営んでいる事業がすべて指定業種に属する場合であって、前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合に使用します。）

中小企業信用保険法第２条第５項第５号の規定による認定申請書イ（８）

令和　５　年　２　月　１５　日

記　載　例

広島市長　様

（申請者）事業所住所　広島市中区国泰寺町〇丁目〇〇
氏　　名　株式会社△△△△△△
代表取締役　□□　□□

私は、表に記載する業を営んでいますが、新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、売上高の減少が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第２条第５項第５号の規定に基づき認定されるようお願いします。

（表）

５２２２　酒類卸売業	５８５１　酒小売業	

※営んでいる事業が属する業種を日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名で全て記載。
※当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近１年間で最も売上高が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等（認定要件：減少率≧５％）

（１）最近１か月間の売上高又は最近６か月間の平均売上高（該当する方の□に✓を入れてください）

｛（ｂ－ａ）÷ｂ｝×１００　　減少率　９．０　％(実績)
（小数点第２位以下切捨て、第１位まで記載）

ａ：☑　最近１か月間の売上高（令和　５　年　１　月）
　　□　最近６か月間の平均売上高（令和　　年　　月から令和　　年　　月）

ａ：　１，０００　千円

ｂ：令和元年１２月の売上高　　ｂ：　１，１００　千円

（２）最近３か月間の売上高の実績見込み

｛（ｂ×３）－（ａ＋ｃ）｝÷（ｂ×３）×１００　　減少率　９．０　％(実績見込み)
（小数点第２位以下切捨て、第１位まで記載）

ｃ：ａの期間後２か月間の見込み売上高　　ｃ：　２，０００　千円

（留意事項）

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
② 市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

広 産 産 第　　号
令和　　年　　月　　日
申請のとおり相違ないことを認定します。
（注）本認定書の有効期間：令和　　年　　月　　日から令和　　年　　月　　日まで

認定者名　　広島市長　　松井　一實　　印